

## ペットと過ごす快適なまいにち

いぬ編

ペットと過ごすまいにちの暮らし。ペットの快適な暮らしは飼い主さんが作りだすものです。今回はペットがおうちで快適に過ごすためのヒント（いぬ編）をお届けします。

**温度管理**  
犬にとって暑さは大敵  
犬が快適に過ごせる温度は25℃前後

**犬が安心できる居場所**  
風通しと日当たりが良い場所にベッドを設置しましょう  
その周りをサークルやケージで囲い、安心できる居場所をつくります  
また、クレートを休憩場所の一つとして使うことで、災害に備えたトレーニングにもなります

**犬種の特徴にあった環境づくりが大切**  
犬種によって必要な運動量や性質などが異なります。  
自分の愛犬の特徴をしっかりと理解し、ふさわしい環境を整えましょう。

**誤飲しやすいものは片づける**  
危険なものを誤飲しないよう愛犬の目の高さで安全を確認しましょう

**新鮮な飲み水**  
新鮮な水を自由に飲めるよう用意しておきましょう

**トイレ**  
寝場所の近くは嫌がる人が多いので離れたところに設置しましょう  
また、トイレは散歩前におうちで済ますようにしましょう

**コミュニケーション**  
名前を呼んだり、なでたりして犬との信頼関係を築きましょう  
散歩は犬と飼い主さんの大切なコミュニケーションの時間でもあるので、毎日行くことを心がけましょう

### ペットのストレスが少ない、在宅避難

電気やガスが来ないなどの不便があったとしても、自宅が安全であるなら在宅避難がおすすめです。そのためには十分な耐震対策、ペットのみならず人の生活を支える備蓄品を多めにストックすることが必要となります。電力は復旧までに1週間、水道やガスは1ヶ月またはそれ以上と言われます。カセットコンロ、非常用トイレの備え、情報収集のためのラジオ、スマートフォン用に手回し式の充電器なども忘れずに。在宅避難であれば、人もペットも感染症などを免れ、ストレスも少なめの環境で過ごすことができます。

### 助け合う仲間をつくっておこう

日頃から犬友さん猫友さんなどと、動物を介したお付き合いがあると良いです。そうした人たちといざという時にも助け合えるようにしておくことも大切です。留守中に被災した場合に備えて鍵を預け、飼い主さん不在の場合に動物を救出してもらう。人がケガをしたり体調不良になった時などに動物を預けられるよう、ふだんから互いにお泊りの練習をしておく。遠方に親しい動物友達がいれば、動物だけでも一定期間預かってもらえるかも。非常時にはどうなるかを想像し、そんな時にどうしたらよいか、ともに考える仲間づくりを心がけましょう。また被災後は、動物も大きな変化に気持ちが追いつかないもの。いつも以上に優しくケアしてあげてほしいと思います。

**シリーズ紹介** | 避難所に行くことだけが避難ではありません。自宅の安全が確認できれば、家にいながら避難生活を送ることも可能になります。第4回では、在宅避難に備えておきたいことをご紹介します。

**筆者紹介** | 佐久間久美：日々の暮らしの中に取り込めるペット防災を考える、東京都動物愛護推進員

## 暮らしのなかの ペット防災

避難にそなえて②

Vol.4

災害が起こったなら。ライフラインが途切れていても安全に過ごすための準備は、家に残るといっても大丈夫です。ペットと暮らす方も、家に残るといっても大丈夫です。ペットと暮らす方も、家に残るといっても大丈夫です。

にゃーちゃん  
女の子  
推定2さい

こはるちゃん  
女の子  
2さい

リンちゃん  
女の子  
推定1~2さい

掲載している名前付き写真は、飼い主募集中の保護犬・猫たちです

# 犬と楽しく ENJOY! コミュニケーション

犬と遊んでコミュニケーションを図ることで、飼い主とのきずなも深まり、信頼関係が築けます。犬は教えてあげると物の名前も覚えます。それを利用して楽しく遊びましょう。

## おもちゃを持ってくる

- 1 おもちゃを持ってくる。
- 2 名前を覚えて持ってくる。



- A おもちゃの名前を言いながら「〇〇を持ってきて」と近くへ投げる(離れて行ってしまわないようにリードを付けて行うと良い。)
- B くわえたら褒めて、近くで手のひらを出して「ちょうだい」と言う。  
おもちゃを放したら褒める。(無理に取らない)  
\*どうしても放さないときは小さなご褒美と交換する。
- C すぐに放してくれるようになったら、ご褒美におやつを使わず、すぐにおもちゃを投げてあげることに変えていく。

### <レベルアップ①>

- 1 「オスワリ」「マテ」をして少し離れたところに置いて「〇〇を持ってきて」と言って上記の行う。
- 2 よく出来るようになったら少しずつ距離を離していく。

### <レベルアップ②>

違うおもちゃに変えて上記のA.B.C.を行う。  
「△△を持ってきて」と言って遊び、2個名前を覚えさせる。

### <レベルアップ③>

- 1 「オスワリ」「マテ」をして少し離れたところに〇〇と△△を置いて「〇〇を持ってきて」と言う。
- 2 〇〇を持ってきたら大いにほめる。  
△△を持ってきたら、ア～ア～とダメ出しをする。(決して叱らないこと)

### ポイント

飼い主は楽しそうに行う。  
失敗しても叱らない。  
興味を示すおもちゃから始める。  
普段からおもちゃを与えっぱなしにしない。  
飽きる前にやめる。



執筆：町田動物愛護の会会長  
東京都動物愛護推進員  
ドッグトレーナー 森本 とも子

## 最新のお知らせ

譲渡会事前相談会、飼い主のいない猫(\*)の相談会

主 町田動物愛護の会  
日 次回9月12日、9月19日いずれも火曜日14時～15時  
場 保健所中町庁舎1階講堂 月2回開催



(\*)保健所では、人に飼育されていない「飼い主のいない猫」による被害や迷惑を未然に防止するため、町田市内に生息する「飼い主のいない猫」への不妊・去勢手術にかかる捕獲器の貸出と手術費用の一部補助をしています。詳しくはホームページをご覧ください。



### 町田わんにゃん譲渡会

主 町田動物愛護の会  
日 次回9月24日(日)10時～12時  
内 保護犬、保護猫の新しい飼い主探し  
場 保健所中町庁舎駐車場 月1回日曜日(4、8月以外)開催



### まちだ動物愛護フェスタ2023

共 町田動物愛護の会/株式会社ミュージアム・スタッフ  
日 11月3日(祝日)12時～14時内  
内 愛犬との写真撮影会・ミニ譲渡会など多数のイベントブースあり  
(詳細は9月上旬に「町田動物愛護の会」ホームページに掲載予定です)  
場 南町田グランベリーパーク 丘の広場



### 私の寄附で動物愛護!(ふるさと納税)

主 町田市  
日 随時募集しています  
内 人と動物との調和のとれた共生社会実現のために、ふるさと納税のご協力をお願いします!使い道を「私の寄附で動物愛護!」に指定してご寄附いただいた方には、斉藤倫先生(本紙にて「ヒゲ猫博士」連載中)のイラスト入り感謝状をお送りします。



### 「人と動物のふれあい」絵画展

町田動物愛護の会主催で、毎年市内の小学生から学校を通じて作品を募集しています。「動物愛護」をテーマとした絵画展で、たくさんの心温まる作品が寄せられています。現在市のホームページで2022年度の受賞作品を掲載していますので、ぜひご覧ください。



## ヒゲ猫博士



※ペットの遺棄は犯罪です。見かけたら通報を!!

### 作者紹介

町田市在住の漫画家 斉藤 倫  
「ノーにゃんこ ノーライフ」(地域猫題材の漫画)や「路地裏しっぽ診療所」(動物病院が舞台の漫画)などが現在発売中

## 暑い夏!!

### ペットも熱中症になります

全身が毛におおわれている犬や猫は、体温調節のための汗腺が足の裏などにしかなく、暑さが苦手です。飼い主さんがペットを熱中症から守りましょう。

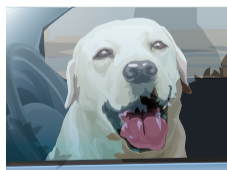


### 散歩

- 気温が高い時間帯を避ける。
- 夕方になって涼しく感じても道路の表面温度は高いままなことも。道路の表面温度を確かめてから出かけましょう。
- こまめな水分補給をする。

### 屋内

- 冷房を入れたり、風通しを良くしたりして温度を調節しましょう。
- いつでも自由に水が飲めるようにしましょう。



### 車に乗るとき

特に気温が高い日は、冷房が効いていない車内は短時間でも非常に高温になります。わずかな時間でも、車内にペットを残したまま車を離れないようにしましょう。

## 「ズーノーシス」って? <レプトスピラ症>について



- **病気の特徴(症状)**
    - ・感染してから1～2週間後に発熱、頭痛、筋肉痛、結膜充血などの症状が出ます。
    - ・黄疸、出血、腎機能障害など重症化する場合があります。
  - **感染経路**
    - 感染しているネズミや野生動物などの尿から細菌が排出され、その尿に触れたり、尿に汚染された水や土などから皮膚や口を介して感染します。
  - **予防**
    - ・ネズミの駆除など衛生環境の改善。
    - ・感染の可能性がある動物と接触する場合は手袋やゴーグルを着用する。
- ※野生動物が生息する地域、特に山や川などアウトドアに出かけるような場合、レプトスピラ症が含まれている犬の混合ワクチンが推奨されます。かかりつけの動物病院でご相談下さい。

### 犬・猫のマイクロチップ装着費用を補助します

対象 町田市内で犬・猫を飼育する市民の方  
※装着済みの犬・猫を購入等された方は対象外。  
補助金額 1頭につき2,000円まで  
条件 1. 補助対象動物病院でのマイクロチップ装着  
2. 環境大臣の指定する登録機関への情報登録  
3. 犬については狂犬病予防法に基づく町田市への登録  
受付期間 2024年3月31日まで (ただし予算がなくなり次第終了)  
※申し込み方法・詳細はホームページでご確認ください。



## 犬の飼い主様へ 保健所からのお願い

狂犬病予防注射は年1回の接種が義務付けられています

